

下水道事業会計状況調書

I 事業概要

公共下水道事業においては、昭和56年度から公共下水道の整備に着手して以来、事業の推進に努めており、平成29年度についても、老朽化した施設について改築更新を行うとともに、大雨災害の防除を目的とした浸水対策を行う。

また、個別排水処理施設事業においては、公共下水道による整備区域以外などを対象に、生活排水対策の推進のため、市が浄化槽の設置を進めており、平成29年度においても、住民の要望に基づき浄化槽の設置を行う。

II 事業内容

1 公共下水道事業

管渠については、若山町地区及び常盤町地区の浸水対策として雨水管渠の新設工事を行うほか、既設管のたるみが著しい常盤町地区の污水管渠の改築更新などを行う。

若山浄化センターについては、供用開始から27年を経過し、主要設備機器の老朽化が進んでいることから、下水道長寿命化計画に基づき、前年度に引き続き、機械設備等の改築更新などを行う。

管渠建設費 329,302 千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 237,800 千円

(2) 委託料 64,700 千円

(3) その他 26,802 千円

処理場建設費 141,349 千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：処理場建設費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 38,000 千円

(2) 委託料 89,516 千円

(3) その他 13,833 千円

2 個別排水処理施設事業

これまでの対象地区に加え、平成28年12月より、中登別町の一部地域で個別排水処理施設事業を開始したことから、当該地域も含め、浄化槽12基の整備を計画する。

個別排水処理施設整備費 18,300 千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理施設整備費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 18,300 千円